

1. 評価報告概要表

評価確定日 平成21年7月3日

【評価実施概要】

事業所番号	227830211		
法人名	医療法人社団 聖パウロ会		
事業所名	グループホーム明日香		
所在地 (電話番号)	浜松市浜北区横須賀63-5		(電話) 053-584-5500
評価機関名	静岡県社会福祉協議会		
所在地	静岡市葵区駿府町1-70		
訪問調査日	平成20年6月18日		

【情報提供票より】(20年 6月 7日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 14 年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員	18 人
職員数	15人	常勤	14人, 非常勤 1人, 常勤換算 9.9人

(2)建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄筋 2階建ての	造り 1階 ~ 2階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (100,000円)	有りの場合 償却の有無	有(期間:1年)
食材料費	朝食	400 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,400円		

(4)利用者の概要(6月 7日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	8 名	要介護4	3 名		
要介護5	3 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 90.2 歳	最低	78 歳	最高	100 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	西遠クリニック 遠州総合病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人のクリニックに通院している人やその家族が利用できるよにと開設したグループホームなので、利用者や家族からの信頼は厚く、職員も理念である「お互い様の心」を実践し信頼に込めている。グループホームのスタート時から重度化や終末期に向けた支援を行い、実績を積んでいる。また地域との交流も積極的に行い、地域の祭りなどに利用者達と参加するだけでなく、地域の一員として自治会の清掃作業に参加したり、小中学校の福祉体験の受け入れを行うなど、双方向の付き合いができています。平成14年の開設から6年目、利用者の重度化などもあり新たな対応を模索しつつ、ホーム便りや個人別の便りを発行したり家族との交流を計画するなど家族との連携を図っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価結果については職員会議で話し合い、改善に向けた取り組みがなされ、介護計画の充実や地域へのホームの機能の還元などを実践している。時間を要する項目については改善に向けた取り組みを進めている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員が一人心より自己評価票に記入し、皆の意見を取り入れて管理者がまとめている。職員は自分で書くことにより、改めてグループホーム明日香の目指すものについて考えるよい機会になっている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>自治会長や行政、家族などの参加を得て、第一回の運営推進会議を開催した。中でも家族については全家族に参加を呼びかけ、12家族15名の参加があった。初回なので運営推進会議の目的やホームの現状などを話し合い理解を得ている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族にはホーム便りと個人用の便りを隔月で送付し、日々の暮らしぶりや職員の変更などを報告している。家族の訪問の折にも日頃の様子や健康状態、金銭報告などを伝え、ホームに対する意見や要望を何うよう声掛けしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の祭りや小学校の運動会など、地域の行事に参加し、また敬老の日に行うホームの行事には地域の人達にも参加してもらうなど交流を図っている。今後利用者が地域に出かけていく機会として、公民館の利用を計画している。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	スタート時から、「お互い様の心」とそれをを実現するための10ヶ条を定め、事業所の理念として実践している。	○	開設から6年目を迎え、「お互い様の心」を実現するための10ヶ条の見直しを検討している。地域密着型サービスとしての役割を果たす内容も加えられたい。
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議や勉強会などの話し合いの中で確認し合い、意識して日々のケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し地域の行事に参加したり、隣の小学校の運動会に行ったり、清掃活動などにも出るなど、双方向の交流ができています。小中学校の福祉体験の受け入れも行っており、ホームの機能を地域に還元している。	○	利用者が地域とつながりながら暮らしていくことを支え、地域に暮らす一員として積極的に地域とかかわっている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、職員一人ひとりが自己評価に取り組み、全員でケアの振り返りを行っている。特に管理者は職員一人ひとりの前向きな意識や考えを理解し、ホーム運営の改善に活かしている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	第一回の運営推進会議が開催された。自治会長、地域包括支援センター、行政、家族、利用者、管理者、職員をメンバーとし、ホームの現状や年間行事などを報告、話し合いを行なった。	○	自治会長や家族からホームへの支援の提案がされるなどよいスタートができていますので、今後定期的に行なわれ、話し合いの結果を今後のサービス向上に活かしていくことを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外にも何か事があった時には相談に行っている。介護相談員の日頃の活動報告を受け、介護相談員と市の担当者と管理者の三者で話し合いを行った。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便りと個人用の便りを隔月で家族に送付し、利用者のホームでの日頃の暮らしぶりを伝えている。4月の便りには職員を顔写真つきで紹介し、新人の職員の挨拶を掲載した。金銭出納帳は家族の訪問時確認してもらっている。健康状態に変化のある時には電話で速やかに連絡し、相談している。	○	金銭報告は訪問時だけではなく、定期的に家族に報告することが望まれる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時や行事への参加時、声掛けして意見を伺っている。介護相談員を受け入れ、利用者が思いを外部者に表せる機会を設けている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホームは法人内で最初の事業所のため、新しい事業所が開設すると職員の異動がある。そのつど利用者や家族にきちんと伝え、新人職員は最初はすぐ介護を担当せず、まず利用者に顔を覚えてもらうようにするなど、職員の異動や離職に対する影響に配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は経験や担当に合わせ研修を受けている。勤務としての研修や費用面の保障もあり、研修参加者はホームで伝達研修を行う。ホーム内で全職員が参加し、月一回テーマを決め勉強会を行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会参加時知り合った同業者同士で情報を交換し合ったり、お互いの事業所を見学し合ったりしている。管理者の交流から進めて、今後は職員が見学し合う機会を予定している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	同一法人のクリニックへ通院していた利用者の入居が多く、往診する医師とはすぐに馴染みの関係作りができる。入居前に見学をしたり、家族からセンター方式で聞き取りを行い、状況を把握した上での利用開始となっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	理念に「お互い様の心」を挙げており、職員によく浸透している。共に生活する中で入居者から昔の知恵を教えられることも多く、理念を実感した関係が作られている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用したり、家族からの話で情報を得たり、一緒に過ごす日々の中で利用者の話や過ごし方から思いや意向を汲みとっている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式を利用し、日々の様子や本人・家族の思いを反映して担当が作成し、それを基にカンファレンスで皆の意見を出し合い、作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的には3～4ヶ月の見直しとしている。短期間でも状況に合わせて問題点だけを取り出した見直しが行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携により、本人、家族の希望に添って入院を回避したり、終末期の対応にも応じ支援している。緊急時には職員が付き添って受診している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同一法人クリニックへ通院していた入居者が多く、そのままかかりつけ医となっている。毎日2回の看護師の訪問に加え、毎月2回の医師の往診を受けている。歯科医の往診も受けている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に「重度化した場合における対応に係る指針」を利用者・家族に説明し、同意を得ている。状況の変化に応じた対応の再確認を行い、全員で方針を共有している。	○	ターミナルの実績は開設以来28名を数える。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	呼び名や言葉使いなど、個々の状況に合わせた言葉かけや対応がされている。個人ファイルは事務所内の目に付かない所に保管している。	○	玄関にある面会簿が誰にでも見られる状況にある。個人情報の取り扱いに留意され、記録方法の検討をされた。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの要望・状況に合わせ、無理強いされことなく散歩・買い物・家事・テレビ・おしゃべりなど、ゆつたりと生活している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	以前はホームで作られていたが、重度化に伴い毎日のご飯・汁物と日曜日にホームで作る以外は同一法人の給食を利用している。栄養士が常駐し、利用者の状態に合った食事が提供されている。盛り付けや片付けは出来る人が職員と一緒にやっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	概ね午後を設定しているが、希望者には自由に入浴できるよう支援している。入浴を拒否する人は声掛けなどに工夫した働きかけをしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事や畑仕事、食事の準備、洗濯物干しやたたみ、雑巾縫いなど得意分野が活かせるよう役割分担がある。自然に歌が出て合唱になったり、お手玉など慣れ親しんだ楽しみごとが出来よう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所に散歩や買い物に出かけたり、2, 3人ずつ水族館・お花見・竜ヶ岩洞などのドライブへ出かけている。また利用者の重度化や高齢化に伴い、外出が困難になっている為、庭での食事や日向ぼっこ、犬とのふれあいなど利用者の気分や健康状態に応じて、戸外で過ごす工夫をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	開放することで入居者の安心が得られ、状態が好転すると考え鍵はかけていない。見守りが重視され、地域の協力も得ている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力により毎年2回の避難訓練が行われている。勉強会で話し合わせ、備蓄品も徐々に揃えている。	○	運営推進会議等で、災害時の支援体制確立に向けて地域に働きかけていくことを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	喫食量を記録し、職員で共有している。十分な水分が取れるようにさりげない声掛けをしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広く明るい居間にはソファが随所に置かれ、銘々が程良い距離で個々の居場所で寛いでいる。窓からは緑や畑、通りを通る車や人など日常の営みが見える。台所・浴室・トイレも適度な家庭的な造りとなっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の希望に合わせて、畳かフローリングの選択が出来るように準備している。使い慣れた家具やお位牌が持ち込まれるなど、居心地の良い空間作りを支援している。		